AFFILATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN's CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

Kyoto Tops

Y'S MEN'S CLUB

Chartered
10th. July1994
10月号
第29巻
第4号
通巻326号

躍動するトップスクラブ
TOPSのバナーにはこまが三個配されています。TOPSのTOPとは独楽(こま)と言う意味もあります。こまは軸を中心に回転し自由に動き回る。回転しなければ、倒れてしまうものです。トップスクラブは止まる事なく躍動し続けると言う意味でもあります。

田頭邦彦会長主題:
＜　話・和・輪　＞
～Start with a bow and end in a bow～

ヘッド:石倉尚京都部部長　9月例会(部長公式訪問例会)
京都部部会　ゲスト交流会　中部部会　30周年記念に向かって
CS事業レポート　YMCA NEWS

写真:9月部長公式訪問例会

写真:第27回京都部部会

国際主題:Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT
フェローシップとインパクトで次の100年へ
アジア太平洋主題:Elegantly Change With New Era　新しい時代とともに、エレガントに変化を
西日本区主題:Know the origin and utilize it in the future！　原点を知り将来に生かす
Stand up Y's Men with our Motto！　立ち上がれワイズモットーと共に
京都部主題:United by YMCA　～YMCAで、ひとつになる～

United by 話・和・輪
～対話をもって手をつなぎひとつになる～

第27代京都部部長　石倉尚

京都トップスクラブの皆様、こんにちは。9月の京都部部会には、多くのメンバーにご参加いただき誠に有難うございました。お陰様で無事に終えることができました。また、昨年には、快く小林郁佳ワイズを国際交流主査にご推挙いただきありがとうございました。今期の会長・部役員の中、紅一点でご活躍いただいております。
前年の西日本区最優秀クラブ賞受賞、おめでとうございます。その実力通り、前期半年報で貴クラブの会員数は、62名と部内最多のメンバーが在籍されています。西日本区において最多のメンバー数を誇る京都部においても前年の期首から会員が増加したクラブは17クラブのうち貴クラブを筆頭に4クラブのみであり総数で10名の会員の減少と他の部と同様に会員の増強は大きな課題であります。

田頭会長も部報に退会者ゼロに全力を注ぐと寄せられています。メンバー増強のカギは、ノンドロップであると私も考えています。数の力はとても大きいのですが、数を増やし維持することはとてもムツカシイことであると思います。なぜ自分は入会したのか？なぜ自分は活動を続けられているのか？答えはそこにあるのではないでしょうか。自分の置かれている環境や社会の動きに大きく揺れ動くこともあるのですが、入会したキッカケ、活動を続けられている真の理由を持つことで確固たる信念、決してブレることのない意思をもって、ワイズ活動はもとよりEMC活動ができるのではないでしょうか。

人との繋がりを大切にし、自分の人生、互いの人生を豊かにすること、出来るように共に尽力することが大切ではないでしょうか。自分の時間・労力を惜しみなくメンバーと共に費やすことで得られる達成感や満足感。何の因果か、我々はワイズメンズクラブに入会し今がある。この事実を素直に受け止め、共にこの場所を最良の場所とするために活動を続けていきましょう。

今期の会長主題に掲げられている「話・和・輪」をもって！この一年どうぞよろしくお願い申し上げます。

村山大基Y's選

聖句

狭い門から入りなさい。
滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。

マタイによる福音書　7章13節

会　長	田頭邦彦
副会長	石田博紀
	舞田智之
書　記	鹿取俊志
	余田敏明
会　計	倉卓也
	的場幸生

10月強調月間　**BF**

BF（ブラザーフッド基金）の意味を理解し、国際奉仕団体のメンバーとして、この基金の充実と活用に貢献しましょう。 古切手を集め、皆で一緒に作業して交流を深めましょう。

小田哲也　国際・交流事業主任（福岡中央）

9月報告

例会出席　第1例会		第2例会	BFポイント		スマイル		ファンド		献血	
メンバー数（広義会員44	63 名	63 名								
特別メネット	1 名	1 名	現金	0 円	9月	15,000 円	9月現金	16,000 円	9月	400 cc
出席メンバー	44 名	32 名	切手	0 円						
メネット・コメット	0 名	0 名								
ゲスト	7 名	0 名								
メーキャップ	4 名	4 名								
出席率		77 %	累計	0 円	累計	27,000 円	収益累計	53,960 円	累計	1,200 cc

部長公式訪問例会例会（8月例会）

日時： **2022年9月14日**　　稲田準也Y's
場所： **ウェスティン都ホテル京都**

9月14日に部長公式訪問例会が開催されました。
前回の例会がコロナ感染拡大の影響でzoom例会だったため、久々の対面での例会になりました。トップスメンバーの参加人数も多く、またゲストの方もたくさん参加していただき、凄く気合いの入った例会でした。
さて、今回の例会のメインは・・・、もちろん御三方による講演です。御三方とも熱の入った素晴らしい講演をしていただき、大変勉強になりました。
木村京都部CS事業主査の「地域の子供たちに対する思い」には感銘を受けました。未来ある子供たちへの活動が次の世代へと受け継がれていく。という思いが強く伝わりました。本当に素晴らしかったです。
また、佐治京都部PR委員長の「ワイズの元気玉」の講演もとても勉強になりました。特に「1人1人の力は小さくても、皆が集まれば大きな力になる！」という言葉が印象に残っています。（まさにその通りだと思いました！）
最後は石倉京都部部長の講演でした。キャピタルクラブの歴史からワイズメンズクラブに対する熱い思いを講演していただき、本当に有り難うございました。時間を忘れて聞き入ってしまいました。（新山Y' sとのやり取りはニヤっとしました。笑）
御三方とも素晴らしい講演を有り難うございました。
凄く有意義な時間が過ごせて幸せでした！次回の講演も期待しています。

第27回京都部部会（第2例会）

日時： **2022年9月3日**　　石田博紀Y's
場所： **ウェスティン都ホテル京都**

９月３日ウェスティン都ホテルで京都部部会が開催されました。
いつものようにトップスクラブは多くの参加者で、ブルーのスーツが眩しく、バナーセレモニーでは田頭会長の足取りも軽かったのではないかと思います。
今期、部会ホストは京都キャピタルクラブが担当していただきまして、YYYフォーラムを部会に盛り込み、普段声を聴く機会が少ないリーダーの生の声を聴くことができ、内容の濃い部会を準備して頂いた事、感謝いたします。
YMCAで尽力する若者の姿に感銘を受けたメンバーも少なくないのではないでしょうか？
これを機に、YMCAの事業への参加もお願いいたします！

第1回EMCゲスト交流会

日時： 2022年9月26日
場所： 京都YMCA

今西宏樹Y's

9月26日、田頭期第一回目のEMCゲスト交流会が行われました。今回メンバーゲストが2名、そして茨木クラブからも掛谷会長、清水さんの2名に参加していただきました。私は、今回お役目なしということで気楽に参加しました。去年から始まったこのゲスト交流会ですが、前期はこの企画のおかげで沢山の方に入会していただくことができました。今期も引き続き、このゲスト交流会を通じて、多くのゲストさんと交流をし、トップスクラブに入会して欲しいと思います。今回参加いただいたメンバーゲストの丸山さんは皆さんご存知の関ジャニの丸山さんのお父さんでやはりめちゃくちゃハンサムなイケおじでした！元ボディビル選手ということで、沢山は話せなかったのですがトレーニングの話を少し聞けて、私の大胸筋も反応して喜んでいました(笑)もう一人の阿部さんは、ホームページの作成等を行う会社をしていて、私と同い年ということでとても気さくな方でした。二人とも入会したいと言ってくれているので、また新しい仲間が増えるのは嬉しい限りです。

中部部会

日時： 2022年9月24日
場所： 金沢ニューグランドホテル

牧野篤文Y's

9月24日に開催されました中部部会にトップスクラブから田頭会長、新山y's、河原正浩y's、河合y's、小林郁佳y'sと私の6名で参加しました。私と河原正浩y'sは電車にて金沢まで行き、後の4名は河合y'sの車で日帰りという強行日程で参加されました。

中部部会と併用して金沢クラブの75周年記念例会も開催され、フラダンスなどが行われ楽しい時間を過ごす事が出来ました。75周年を迎えられた金沢クラブの平均年齢は80歳らしく、一番若いメンバーが67歳で、トップスクラブ最年長の加藤隆司y'sと同じ年という事には驚きました。

京都部以外ではメンバーの高年齢化が進んでいて10年後を考えると非常に不安になります。金沢クラブのメンバーさんのように長年ワイズダムに尽力して頂いた先輩達が築き上げたワイズを守るために今、自分にできる事をやり抜こう！と強く感じました。まずは西日本区全体で「中堅世代連絡協議会」のような、西日本区内のクラブの40代～50代のメンバーのネットワークを作り、情報共有や協力体制を作り、西日本区全体の中堅メンバーを盛り上げる活動を西日本区に提案したいと思います。

スケジュール　10･11月

10月
- 8･9日 エイズ文化フォーラム
- 12日（水）EMC･ファンドゴルフコンペ
  ウエルカムゲスト例会
- 15日（土）森のハロウィン
- 22･23日 青い空と白い雲のキャンプ
- 26日（水）役員会
- 30日（日）ワイズデー･国際協力街頭募金

11月
- 3日（日）聖嬰会まつり
- 9日（水）講師例会
- 18日（金）YMCA/YWCA
  合同祈祷週プログラム
- 23日（水）ドッチボール大会
- 30日（水）役員会

私の考える30周年記念事業

辻村翔平Y’s

京都トップスクラブの皆様お疲れ様です。いつもお世話になっております。
このたび、内山ブリテン委員長よりブリテン連載企画「30周年記念事業へ向けてのアイディア」と題した原稿の執筆をご依頼いただきましたので、分不相応ながら私が考える「30周年記念事業へ向けてのアイディア」を書きつづらせていただきます。
私自身、京都トップスクラブに入会して3年ほどとなるのですが最初は全然わからなかった「ワイズメンズクラブとはどういった団体」で「どのような目的や意思を持って、どんな活動を行っているのか」というのが、クラブ内での活動やメンバーの皆様との交流を通して、徐々にではありますが明確化されて参りました。
そんな中、やはり感じたのは「メンバー同士の交流を図る」「YMCAに対しての奉仕活動を行う」この2点の活動が非常に大事かつメンバーが一丸となって取り組む事業の柱になるのではないでしょうか。
この2つを柱として行う事業なら、一体どんなことができるのか…。
基本今までの活動もこの2つが柱となっているのは重々承知しておりますが、あえて私が新たに打ち出すのであれば「東京ガールズコレクション」ならぬ「京都YMCAコレクション」といったYMCAと共同で行う大規模なファッションイベントを企画してみても面白いのかな、と考えたりします。
「交流×奉仕」をテーマとして地域の方より洋服などを寄付していただく、または洋裁の専門の方などをお招きして洋服を自ら洋服を作成などすることで交流を図り、一般参加者も募れるイベントにすることでYMCA、ワイズメンズのPR活動にも繋がるのではないかと思います。
5年に一度の周年事業企画。ファッションショーはあくまで例ではありますが、折角の機会ですので皆様の記憶に深く印象付けられる事業をやってみたいです！

鹿取俊志Y’s

どちらかと言うとあるものをより良くする方が自分にはあっていてアイデアを出すのは得意ではないのですが、記念事業はメンバー全員の会費から予算として行うので旅行に行くとか何かの補助に使われるではなく誰かの助けになるものを寄贈、建設など出来ればと思います。記念事業として残る物が良いかなと思います。お金だけで支援、寄贈するよりメンバーで楽しく協力して関われたら理想かと思います。

●ぐんぐん、聖嬰会さんへ、三条YMCAへ
支援先には必要なものを寄贈になりそうですね。三条YMCAへは根本的な運営の所で何か出来る事が有ればいいかなと思います。

●リトセン施設へ
一般のお客さんを呼べるようになるなら利用しやすく改装する。インスタ映えするような看板、モニュメント寄贈、食事メニュー、体験メニュー開発、など。リトセン委員会があるのでどこまで出来るかって所ですが…。

●TOPS農業
農地購入？農具置きなどを建設。何か作って他クラブにも案内出来るファンド商品にしていく。支援先などへ寄贈。支援先の方と作業。ウェルネス、ファンド、趣味も兼ねて。農業の事は何も調べてないのですが一応一押し企画です。管理などなど大変そうですが…。

●長期的な計画の発表(学校建設など)
などなどできたらいいかなと思います。
何をするにも記念事業を通してみんなで汗かいて和気藹々となり達成感なんかあったら最高かと思います。よろしくお願いいたします。

30周年記念事業に向けて

舞田智之Y’s

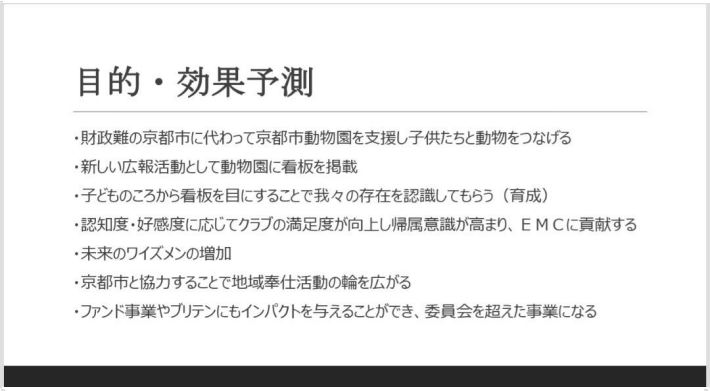
この度京都トップスワイズメンズクラブは2024年に30周年を迎えることになりました。
1994年に誕生し30年の月日が経ちました。設立に立ち会ったわけではないので、当時の様子はわかりませんが相当の熱意と労力が注がれていたことは容易に想像ができます。
私は15期に入会ですのでちょうど半分関わらせていただいておりますがそれでも振り返ると長い間クラブにお世話になっているなと改めて思っているところですが先輩方の30年はもっと感慨深いものだとも思うところであります。
さて30年といいますと人間でいえば青年から成熟した大人への変革期のように思います。失敗を重ねたり、人に評価され励んだりと経験も豊富となり他の人への配慮も覚え公益を意識するそんな素敵な大人への第一歩になるような門出の30周年記念事業ができればと思っております。クラブメンバー内で分け隔てなく意見を聞き討論を重ねていければ素敵な記念事業になるのではと思います。近年は新しいメンバーも増えて会歴の浅さからなかなか声を出しにくい方もいらっしゃるかもしれないですがそれはベテランのメンバーがそれらを吸収して意見の一つとしてメンバーが一体となって取り組める事業をみんなでやりたいと思いを募りおじさんのつぶやきとさせていただきます。

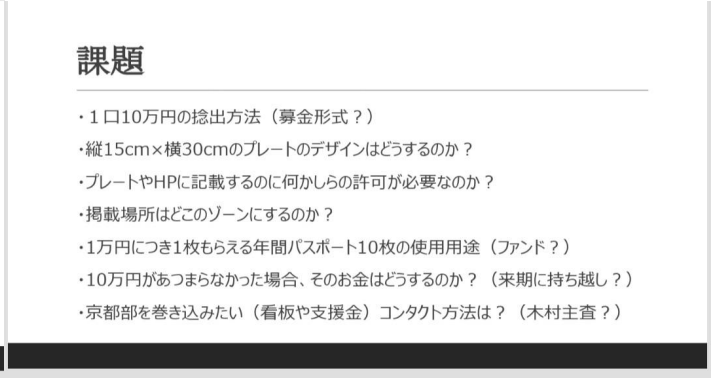
CS事業レポート　連載

岡田和樹Y's

CS委員の岡田でございます。新たなCS事業をブリテン委員様が取り上げて頂き感謝致します。
我々CS委員会では新型コロナウイルスの影響で事業が中止になることが多く、この状況下でも何かできないか？ということを議論しております。
しかしながら今季は始まっており予算も決まってしまっておりますので議論は難航しております。
我々は奉仕クラブですのでやはり何かしたいということで絞り出した案が「京都市動物園の支援事業」であります。どのような事業かというと、我々の例会会場の岡崎エリアでもある京都市動物園が京都市の財政難で運営が困難ということをTVや動物園の園長先生のお話で知りました。
京都市が掲げる子育て日本一が本当にこれでいいものなのか？
他府県と比べると平等にはならないのでは？と考えていたところ10万円からエサ代サポーターという支援ができることを知りました。
支援している児童養護施設『聖嬰会』様との支援が新型コロナウイルスの影響で近年できておらず、何かできることは？と模索している最中に、上記支援の案件を京都市動物園とお話を進めているうちに動物園の園長先生から特別に動物や動物園について授業をしていただけるというご提案を頂きました。

さらに、10万円を寄付することで動物園のどこかに1年間の期間でプレート（15cm×30cm）の掲示、さらに京都市動物園のHPに掲示ができ、そこにトップスワイズメンズクラブと表記することで1年間100万人以上の目に留まる可能性があり、未来のY's（中学生以下は無料）達が年間30万人は来園されるので、サポートしているというプレートを見て、印象に残っているのであれば、現代化すべき広報戦略につながることが期待できる。EMCにもつながり会員の増加につながる可能性が極めて高くなると考えております。
今年だけとは言わず、長く続けていきたいと考えております。
事業内容は決まり次第ご報告いたします。引き続き宜しくお願い致します。





YMCA NEWS

10/15開催 森のハロウィン！

リトリートセンター（リトセン）の森でこの秋、子どもたちと不思議な夜を過ごしませんか？街灯りと雑踏のハロウィンとはひと味ちがう、森のハロウィン！木々の妖精たちが集ってくるかも？
基本的感染症対策をとり、実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。

日　時：10月15日（土）16:30～20:00頃　※子供達が楽しめるレクリエーションは16：30から始まります。
場　所：京都YMCAリトリートセンター
参加費：おとな（中学生以上）3,000円
小学生1,500円
幼　児（3歳以上）1,000円
＊すべて税込＊当日現地でお支払いください。
詳細は下記、QRコードを読み取ってご覧ください。
お申込み：下記QRコードを読み取ってお申込みください。

詳　細

申込みフォーム

他の例会・部会・懇親会

答え：9月号6ページ上の真ん中の写真に的場ゲンさんの肩にカマキ